

# 問 市民の意見を市政に生かせ

## 答 新たなワークショップ手法を導入



### 佐藤 仁志 議員 無会派

**問** J・R・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業に関して、市民ニーズが不足していると認めたのか。

**答** (市長) 市民ニーズ以外に、総合計画や都市計画マスタープラン等で掲げている。

**問** 「市民の皆様との意見交換の場は考えておりませんが」と9月に答弁しているが、今後にも必要がないのか。

**答** 様々な意見に対して全て回答しており、一定の理解を得られた。

**問** 近鉄弥富駅の改札が無体化されたが、J・R弥富駅はいつまで駅員を残してくれるのか。

**答** 今のところ無人化の予定はないと聞いている。

**問** 車新田地区の土地区画整理事業への補助金等に上限はあるか。

**答** 計画がある程度固まった段階で検討。

**問** 討論型世論調査は。

**答** 新たなワークショップを取り入れ、意見が出しやすい環境で活発な議論を生み出すことができたので、同様の効果が得られたと考える。

**問** 行政評価と予算編成の連携は。

**答** 企画政策課も交え、予算編成議論を充実させる。



▲近鉄弥富駅改札口

**問** 危機への対応は探求と訓練から

**答** 日頃からの準備と改善が重要

**問** 全庁的な「業務継続計画」の訓練の必要性は。

**答** (市長) 大規模災害に備え、全職員が日頃から準備をすることが重要。

**問** 全庁的な防災人材育成の必要性は。

**答** 毎年、非常配備要員となる新規採用職員や、育休からの復帰職員に、防災関連研修を実施。

**問** 係長試験の導入または研修成果の活用と改善は。

**答** 昇任考査を取り入れることは慎重に精査。現行の受講報告書の内容を、人事異動や昇任に直接使用する予定はない。

**問** 海部地区の各消防との合併を見送った理由は。

**答** 工業団地や港を抱える地域で、他の消防本部と違い特殊性があるため。他の消防本部との距離が更に遠くなり、海部南部消防組合側が応援を受けることは少ないと考えるため。

**問** 消防の将来は。

**答** 今後、県の消防広域化への動向を注視しつつ、他の地域と連携・協力していく。

**問** 海部南部消防組合本部の建替えに十四山支所を活用しては。

**答** 本部と消防署が同じ庁舎内にある方が、日常の業務から災害業務に至る全てにおいて、万全に遂行できるため、同一の庁舎で考える。

海部南部消防署（現況）

- 3階 大会議室・小会議室
- 2階 総務課・予防課・消防課・消防長室（旧通信指令室）
- 1階 署長室・待機室・仮眠室・食堂

